

2023年8月17日

各位

沖縄県労働金庫

## 「ろうきん・あといっぱいプロジェクト」 地域で活躍する高校生・大学生12グループに助成金を贈呈しました！

沖縄県労働金庫（理事長 東盛 政行）は、高校生・大学生に向けた地域活動・社会活動支援策として「ろうきん・あといっぱいプロジェクト」の助成先が決定し、7月に助成金を贈呈しました。

本プロジェクトは、沖縄・地域のために何かしたい高校生・大学生の活動を応援する助成金となっています。「社会人」より活動資金を得ることが難しい「学生」へ資金支援を行うことで、学生自身が活動を通じて得られる知識や経験の広がり、沖縄の地域活動・社会活動のさらなる活性化を期待します。

募集は2023年4月から5月にかけて行いましたが、想定以上の応募があり助成総額を50万から100万円に引き上げました。

申込のあった30グループから、環境に配慮した特産品開発やフードロス活動などを計画する12グループ（高校生9グループ、大学生3グループ）を選出いたしました。各学校での贈呈式では、助成を受けての感謝の言葉とともに、学生たちの今後の活動に対する意気込みをお聞きすることができました。

今後も当金庫の理念にもある「人々が喜びをもって共生できる社会の実現」するため、地域活動・社会活動のさらなる活性化に取り組んでまいります。

### 記

#### 1. 「ろうきん・あといっぱいプロジェクト」概要

##### (1) 対象者

沖縄県内で経済、福祉、環境、文化等の地域活動・社会活動に取り組む高校生、大学生のグループ（2人以上）であること。

##### (2) 助成額

総額100万円、1グループ上限10万円

##### (3) 応募状況

2023年4月1日～5月31日に募集し、30グループを応募受付

高校生：14校19グループ

大学生：7校11グループ

##### (4) 助成先について

12グループに助成決定

高校生：8校9グループ

大学生：3校3グループ



沖縄・地域のために  
何かしたい高校生・大学生の  
「あといっぱい」を応援します！

ろうきん  
あといっぱい  
プロジェクト

詳しくはろうきん  
ホームページから

応募期日  
2023年  
4月1日(土)～  
5月31日(水)

「地域の食材を使ったメニューを考えたい!」「自分たちがガイドのバスツアーをしたい!」  
「環境のことを考えるイベントを開きたい!」など、  
高校生・大学生の皆さんが挑戦したいことを応援する助成金です。

対象者 沖縄県内で経済、福祉、環境、文化等の地域活動・社会活動に取り組む高校生、大学生のグループ（2人以上）であること。その他条件については、ろうきんホームページからご確認ください。

助成金額 総額50万円  
1グループ  
上限10万円

2023.03

## 2. 助成グループ一覧

寄付先団体（順不同）		グループ名	資金使途
1	宮古総合実業高校	フードクリエイト食と環境班	環境に配慮した特産品を開発し優良県産品に応募するため、旅費として使いたい。
2	読谷高校	読谷高校科学同好会	比謝川の汚染度や汚染の原因について調査するため、水質検査キットなどを購入したい。
3	那覇西高校	那覇西高校ボランティア部	渡嘉敷島で小中学生を対象に、環境問題についての学習会を開催したい。
4	知念高校	知高！綱がるプロジェクト	与那原町のSDGsの課題について調査・研究し、地域活性化につながる商品の企画やCM動画作り等を行いたい。
5	宮古特別支援学校	パニパニ・ズミズミ	宮古特別支援学校の美術展を開催したい。
6	宮古総合実業高校	生徒商業研究発表大会出場メンバー	宮古島の観光とSDGsに繋げたサステイナブルツアープランを考える一環で、駆除されたサメを用いた商品を開発したい。
7	美里高校	A I R	小学生に対して絵本を読み聞かせする際（対面、動画）に必要な道具を購入したい。
8	沖縄国際学院高等専修学校	助け合い隊 in OKINAWA	古着・玩具集めを行い福祉団体やNPO法人に寄付するための備品、活動費として利用したい。
9	沖縄尚学高校	地域研究部 継承グループ	白梅学徒隊の足跡を巡るバスツアーを開催したい。
10	琉球大学	学生団体VONS	宮城ヶ原児童センター（浦添市）で小中学生と行ってきたSDGsの取り組みの集大成として、レモネードスタンドで飲み物を提供しながら、今までの取り組みを発表したり、フードドライブを実施したい。
11	沖縄県立看護大学	ふしゃぬ うぐな一り cafe	高校進学のため沖縄本島に「島立ち」した高校生（多良間島出身）の生活面、人間関係、勉強面をサポートするための交流会を開催したい。
12	沖縄大学	沖大ボランティアサポート団体「ぼらさぼ」	他機関から提供してもらった廃棄品の食品で、沖大周辺の住民と一緒に料理を作る「地域に根ざしたフードロス活動」を行いたい。そのための不足分の食料費、広告費として使いたい。

3. 贈呈式の様子





以上

本件に関するお問合せ先  
沖縄県労働金庫 経営統括部  
経営企画課 担当：知花  
TEL：098-861-1196